

## ステークホルダー・エンゲージメント・プログラム・インドネシア

「ビジネスと人権」をインドネシアのパームオイルに学ぶ2日間プログラム  
～事業およびサプライチェーンにおいて自社は何をすべきだろうか?～

経済人コー円卓会議日本委員会は、2019年7月24日（水）および25日（木）に、「『ビジネスと人権』をインドネシアのパームオイルに学ぶ～事業およびサプライチェーンにおいて自社は何をすべきだろうか?～」（2日間プログラム）をインドネシアに於いて開催いたします。

「ビジネスと人権」の取り組みが世界において進んでいます。「ビジネスと人権」に関する国別行動計画（National Action Plan）を策定した国は20か国を超え、策定中の国は30か国近くに及びます（2019年3月時点）。インドネシアでは、本年（2019年）初めに、経済担当調整大臣府（Coordinating Ministry for Economic Affairs）の下で国別行動計画の策定に向けた取り組みが開始され、2019年12月の公表が予定されています<sup>1</sup>。日本では、2020年半ばに国別行動計画を公表することを目指した取り組みが進められています（[外務省 HP](#)）。国別行動計画の策定は、当該国の法規制に影響を与える可能性があります。

日本企業には、変化する事業環境（法規制も含む）やステークホルダーの関心事項（ESG投資家の関心事項も含む）を把握し、自社にとっての人権リスクを捉え、少しずつでも確実に人権尊重の取り組みを進めることが期待されています。現地で起こる人権課題に取り組む際には、その社会や文化により近い現地子会社や現地NGOと連携することが重要です。「ビジネスと人権」を実践する上で、日本企業の本社と現地子会社が自社にとっての取り組みの必要性を理解し、現地事業の人権課題への係わりを理解し、現地NGOとともにその対応に向けて連携する必要性はこれまで以上に高まっています。

この度、インドネシアにおける「ビジネスと人権」の状況を把握し、日本企業が取るべき行動を考える機会として、本プログラムを開催いたします。24日はNGOとのダイアログや企業による事例の紹介（場合により、企業訪問）を通じて、インドネシアにおける「ビジネスと人権」の現状や、農家支援を中心とした、この分野における活動内容を把握し、参加者とともに日本企業に期待される活動やそれを実施する方法について理解を深めます。25日はパームオイルの生産農家を訪問し、サプライチェーンの上流に位置する生産者が直面する課題を把握します。

パームオイルを中心としたプログラムになります。日本企業本社からの参加のみならず、在インドネシア（あるいはその近隣国）子会社からの参加も歓迎いたします。人権デューデリジェンスの一助として、また在インドネシア子会社と「ビジネスと人権」意識を共有する場として、あるいは取り組みの推進に向けて現地サプライヤーやNGOとの連携可能性を考える場として、是非、本プログラムを

<sup>1</sup> <https://globalnaps.org/country/indonesia/> (accessed on 25<sup>th</sup> May)

ご利用ください。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

#### 対象企業

インドネシアよりパームオイルを輸入・調達する商社、化学業、食品製造業、食品小売業等

#### 参加費

50万円／1社（税別）

※渡航費および宿泊費は含まれません。現地集合、現地解散となります。

※1社3名様までご参加いただけます。

#### お申込み先

[info@crt-japan.jp](mailto:info@crt-japan.jp)（担当：岡田）まで、お申し込みの旨をご連絡ください。

申し込み締切日：7月8日（月）

#### プログラム（逐次通訳有）

2019年 7月24日（水）	午後	企業事例の紹介、NGOとのダイアログ 場所：ジャカルタ市内 [目的] インドネシアにおけるパームオイル農家支援の取組みを、企業およびNGOの事例紹介を通じて理解する。その上で、日本企業に期待される活動やそれを実施する際の課題、課題克服方法について議論する。
	移動	早朝にジャカルタを出発し、国内線でジャンビ州の地方空港（Sultan Thaha あるいは Muara Bungo 空港）へ向かい、車で移動します。 場所：Jambi 州内のエリア
2019年 7月25日（木）	終日	農家を訪問 [目的] インドネシアのパームオイル農家を訪問し、RSPOやISPOといった認証取得の状況を確認し、農家が直面する課題を把握する。現地ホテル泊、翌朝解散。

その他の詳細は、別途、申込者へご連絡いたします。